

# 松江市議会の 全会派が 新庁舎建設を 認めた理由。

## 市民の皆様 に 分かりやすく お伝えします。

松江市議会 会派

本当に必要？  
市役所に 150 億円？  
現在の場所？  
市民の皆様が疑問に  
思われる事は  
至極当然の疑問だと  
考えています。

## 市民の負担編

現在計画中の市庁舎を建築できない場合  
未来の子どもたちに残す負担は  
現在の計画より

**30 億円(最低)～ 50 億円(最高)**

**増える** と想定します。

主な理由を分かりやすい言葉で端的にお伝えします。

### 補助金がなくなるから市庁舎建設を急ぐ？

今年度が国の支援（約 30 億円）が受ける事ができる最終年です。これは「実際に建設する市庁舎の設計図（実施設計）」に着手する事が条件です。後は建設の着手をいつにするか？という議論ですが松江市庁舎の現状を考えると「遅く」するメリットがないのが現状です。

### 立地場所や形状変更をしたらどうなるか？

現在の設計内容を変更した場合（例・建設場所など）はもう一度、基本構想から作り直し→基本方針や計画→基本設計まで最低 2 年から 4 年かかるためにいずれにせよ国の支援は受ける事ができません。またこれまで基本構想・計画設計（約 3 億円）などの全ての経費が無駄になります。

### 違う場所で安く作れば良いという議論に対して

例えば現在と違う場所で 120 億円で建設を行うとすれば、現在の建設単価では 15 万人都市（働く職員数も少ない）の新築市庁舎と同規模になると思います。実際は原子力防災センター等や職員数の現状を考えると、そもそも新築・四角の建物でも 120 億円では建てることはできません（私の試算では 150 億円）。この時すでに国の支援はないので現在計画と市民の負担は変わりません。

### 国の支援（30 億円）は本来、無かった。

私たち（松江市議会）は当初予定されていた建設費 120 億円（他市事例※後述）見込みの時より、市民の負担を少しでも減らそうと、国へ支援制度の延長要望を行い 1 年延長が決定しました。私たちは未来の子ども達への負担を軽減してこの市庁舎建設を判断しているわけではありません。

## 結果的に市民の負担が大幅に増えてしまう。

県立プール跡地やホテル穴道湖跡地等を考えた場合（様々なコスト）や場所選定～再計画～実施設計～建築完成までに 7 年～ 10 年。基本構想など職員人件費等のその間のコスト数億円、新築庁舎 130～140 億円、現市役所撤去 8 億円、庁舎建設地整備費（地下埋設物撤去等）7 億円と設定。総額費用は 150 億円から 160 億円程度となり、現在の財政計画より 30～40 億円の負担増となります。さらに広大な市役所跡地活用問題や活用にもさらに数億円を最低限、見込まざる負えません。また多くの地域と同じ様に橋南か橋北かの議論となり市民を分断する市庁舎誘致運動が起き、市庁舎の考え方のみが市政課題になり、福祉やまちづくりや教育など全ての課題解決が遅くなる事は容易に想像できます。そして市民同士で争った結果、現在の古い市庁舎の危険を放置し、何よりも市民の負担が 30 億円～50 億円増えるという最悪の結果が想定されます。